



## 呼吸器病を予防しましょう

冬は子牛の呼吸器病(風邪)が増える時期です。呼吸器病は蔓延しやすいため、治療よりも予防に重点を置くべき疾病です。原因と対策をしっかりと把握し、寒い冬を乗り切りましょう。

### ◆感染の引き金は**ストレス**

- 換気不足によるアンモニア・ほこりの充満
- 寒暖の変化や密飼いによるストレス
- 離乳や輸送によるストレス



呼吸器病の発生原因は病原体・牛・飼養環境のトライアングルが互いに関係し合っています。強いストレスにより免疫力が低下して、ウイルスや細菌などが複雑に絡み合って複合感染し、呼吸器病が発生します。

### 症状

発熱(39.5度～40.0度以上)、咳や鼻水、呼吸が異常に早い、  
元気消失、起立不能、哺乳困難、虚弱

### 対策

- アンモニアは肺の組織を傷つけてしまいます。換気をこまめに行ないましょう。
- 不衛生で寒い牛床は子牛に過度のストレスがかかり、感染症が発生しやすい環境になってしまいます。乾燥した敷料をこまめに交換してあげましょう。
- ヒーターやジャケットなどの保温対策を行ない、寒さから守ってあげましょう。
- 密飼いは病気のもとになります。牛1頭当たりの面積を十分に確保しましょう。
- 分娩前後の母牛には増し飼いをしっかり行ない、子牛に十分な栄養を与えましょう。
- 分娩前に母牛にワクチンを接種すると、子牛が初乳を飲むことにより抗体が移行され、子牛の免疫力が高まります。
- 踏込消毒槽を設置し、牛舎に侵入する病原体を減らしましょう。

